

ヒューマンファクターカルチャー醸成支援教材

DVDビデオ&CD-ROMスライド集

企画・制作:財団法人 電力中央研究所 社会経済研究所
ヒューマンファクター研究センター



価格: DVDビデオ ¥42,000 (税込み)
CD-ROMスライド集 ¥10,500 (税込み)
*送料は別途実費請求

ヒューマンエラーによる労働災害や設備災害を防止するためには、人間の振る舞いに影響を与えるヒューマンファクターについて理解することが不可欠です。

当研究センターでは、過去に起きた重大事故を題材に、「マン・マシン・インタフェース」「コミュニケーション」「マニュアル」「疲労」など、ヒューマンファクターの重要性を考える安全教育のための映像教材、ならびにMicrosoft社のPowerPointによるスライド45タイトル(約400枚)を開発してきました。

これら教材は、職場の安全対策として欠かせない「エラーの発生を抑える」「エラーを事故に結びつけない」「エラーを拡大させない」といった深層防護に関するヒントが得られる内容になっていますので、ヒューマンファクターを理解して、事故や災害の未然防止を狙いとした安全教育を実践したい方々にお薦めします。

① DVDビデオ (全教材123分)

ヒューマンファクターの重要性を考えよう

JAL123便墜落事故を題材に、ヒューマンファクターの観点から安全管理を行うことの重要性を解説。また、JAL123便事故と同じヒューマンファクター上の問題で発生した原子力発電所のトラブル事例を紹介。28分。

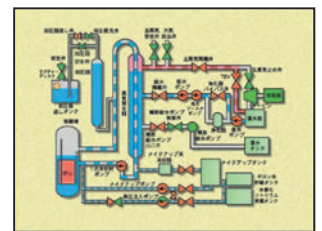
解説:日本ヒューマンファクター研究所長 黒田勲氏



インタフェースの重要性を考えよう

米国スリーマイル島原子力発電所での事故を題材に、マン・マシン・インタフェースの重要性を解説。また、インタフェース上の不備で発生した原子力発電所のトラブル事例を紹介。38分。

解説:東北大学大学院教授 北村正晴氏



コミュニケーションの重要性を考えよう

スペイン領カナリア諸島テネリフェ島の空港で起きたジャンボ機同士の滑走路での衝突事故を題材に、コミュニケーションの重要性をドラマ風に解説。また、コミュニケーションの不備から生じた原子力発電所でのトラブル事例を紹介。18分。



文書運用管理の重要性を考えよう

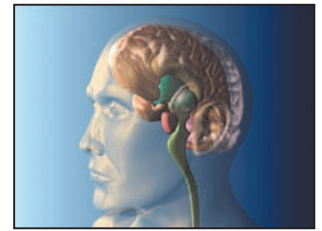
北海油田パイパーアルファ石油掘削井で起きた事故、ならびに米国ディアブロキャニオン原子力発電所を題材に、文書運用管理の重要性をドラマ風に解説。19分。



疲労について考えよう

原子力発電所の作業員を対象に行った実験をもとに、疲労のメカニズム、疲労解消方法などを解説。20分。

解説:日本大学医学部教授 谷島一嘉氏(現 佐野短期大学学長)



特典映像:スライドビデオ

映像教材に出てきた専門用語等の解説や、事例の補足説明などの45タイトルのスライドを、ビデオ映像として収録。ナレーションによって内容をわかりやすく説明。

②CD-ROMスライド集 (Ver.1)

特典映像のスライドビデオの内容を社内講習に使用したい、自分で編集したいというご要望にこたえて、Microsoft社のPowerPointデータとして、CD-ROMに搭載。内蔵の検索ソフトによって、容易にお探しのスライドを検索可能。研修等にそのまま使えるほか、手を加えてオリジナルの教材開発もできます。

1. JAL123便墜落事故	24. 情報管理
2. J-HPES	25. スイスチーズモデル
3. TMI事故	26. セルフチェック
4. 安全管理	27. ダブルチェック
5. 安全対策の形骸化防止	28. チームワーク
6. 安全文化	29. ティアードロケーション
7. インタフェースの重要性	余熱除去機能喪失事故
8. 運転と保守	30. テネリフェ事故
9. 覚醒度と早朝作業	31. デュボンの安全管理
10. 加齢と疲労	32. 電源切替誤操作
11. 管理の視点	33. 慣れとヒューマンエラー
12. 危険予知活動	34. ヒューマンファクターとヒューマンエラー
13. 教育・訓練	35. 疲労とそのメカニズム
14. 緊急時の思考特性	36. 疲労の蓄積とその予防
15. 原子炉キャビティ水漏れ	37. 文書作成の意義
16. 号機間違い	38. 報連相
17. 誤弁開操作	39. 北海油田事故
18. コミュニケーション	40. ボディーランゲージ
19. サークリアンリズム	41. 矛盾情報の処理
20. 錯覚	42. 夜勤と疲労
21. 事象の連鎖	43. 夜勤疲労と作業計画
22. システム設計の視点	44. 指差呼称
23. 情動とヒューマンエラー	45. 予定外作業による漏水



動作条件 Windows98SE以降
Pentium III 500MHz以上推奨
RAM128Mb以上推奨
CD-ROMドライブ8倍速以上推奨

以上

ヒューマンファクターカルチャー醸成支援教材申込み

《送信先》FAX: 03-3430-5779

E-mail: hfc-ad-ml@criepi.denken.or.jp

DVDビデオ・・・ 枚

CD-ROMスライド集・・・ 枚

会社名:
所属:
役職名及びご氏名:
送付先 郵便番号:〒
ご住所:
電話番号:
Fax:
メールアドレス:
その他連絡事項:



問合せ先:(財)電力中央研究所 社会経済研究所
ヒューマンファクター研究センター 事務スタッフまで

☎:03-3480-2111(代) E-mail:hfc-ad-ml@criepi.denken.or.jp